



# 第二中だより

No. 564

開校 53周年

生徒数 421名

令和2年 2月3日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>

## 「 二中の魅力 」

校長 橋本 真

### 先日の「学校朝会」で、話したこと

12月・1月にかけて、3年生の高校入試に向けた面接練習をしました。一人一人明確な志望動機や入学後の学校生活、卒業後の進路、様々な質問に対して、自分の考えを述べていました。礼節、態度等、どれをみても、進学に対する熱意が伝わり、素晴らしいと思いました。その中で、和光第二中学校の魅力の説明してくださいという質問では、体育祭、三葉祭の取組、部活動、友達や先生など、目を輝かせながら自分の体感したことを交えて、語ってくれました。充実した中学校生活を送ったのだなあと思いました。その中で清掃を一生懸命に取り組むことが二中生の誇りです。掲示物が自慢です。ということ述べた生徒がいました。私は、始業式の時に校訓についての話の中で、四季折々の草花、磨き込まれた廊下、工夫された掲示物これが和光二中の「美しさ」だということを話しました。1階には、教育相談、生徒会、2階の渡り廊下では、給食、保健、人権教育、三葉祭のポスターなど工夫を凝らした掲示物があります。そして、校舎のいたる所に「はりお」が元気になる言葉を投げかけてくれています。階段には、「飽きっぽい」→好奇心旺盛、「愛想悪い」→注意深い、「頑固」→意志が強い、「空気が読めない」→自分に集中できるなど悪い言葉を「良い言葉へ」、「人生を変えるリフレミング」と記されています。毎日、上るときに目に入るこのリフレミングは、物事に肯定的な意味づけができるようになる魔力があります。失敗を、自分の学びの機会に変えられます。逆境を、自分の才能の発掘や成長の機会に変えられます。挫折を、共有できる「人との出会い」に変えられます。つまり失敗や逆境、挫折といったマイナスの要素はなくなり、皆さんの人生に起こる一つ一つの出来事が自分を成長させる糧となります。さて、普段見慣れている掲示物を再度見渡してください。そうすると、新しい和光二中の良さが見えてくるとと思います。

### 「希望を持って」

現在、3年生は、進路一直線です。もうすでに決定している生徒もいますが、ほとんどの生徒は、これからが本番です。勉強がなかなかうまくいかない場合もあると思います。そんな時は、皆さんのご両親や先生が応援してくれています。いろいろな人に支えられて今の自分があるという感謝の念を忘れずに、自信を持って試験に臨んでほしいと思います。

### 「凜とする」

梅の小枝に花芽がふくらみ、梅だよりが届いています。暖冬とはいえ、2月の陽光は、「ひやり」と感じ、引き締まった暖かさを感じます。2月は、冬と春が同居している感じがします。厳しい寒さ、その逆境に負けず、「凜と咲く」梅の花に学ぶことができます。人を豊かに力強く育ててくれるものは、順境よりも、むしろ失敗から学ぶことが多いように思います。苦労したらその苦労を「師」として学び、希望を絶やさないことです。成長していく糧では、逆境こそ大切です。逆境に負けず、そこから学び、飛び立つ日のためにしっかりと「身構えていること」が大切だと思います。

### 「旅立ちの日に」

3月13日の卒業式まで、残すところあと28日となりました。音楽室から心地良く、また少し寂しくなる「旅立ちの日に」のメロディが流れてきます。これまでに、卒業していった子どもたちの顔が浮かんでくる曲です。特に、2番の歌詞に「意味もないいいさかいに ないたあの時 ころかよったうれしさに抱き合った日よ」のフレーズに心が熱くなります。今年も本校の三年生を送る会や卒業式で、この「旅立ちの日に」を歌います。3年生は二中で過ごした3年間を思い、1・2年生は先輩たちとの思い出を胸に、体育館いっぱい響き渡る歌声で、心を込めて歌ってください。